

宮古民報

2018・4・15

第1560号

日本共産党
宮古地区委員会
市内宮町4-6-49
電話62-5808
FAX 62-3897

しんぶん赤旗
日刊紙3497円
日曜版 823円

宮古市議選挙は22日投票

当選に必要な大幅な得票増

任期満了にともなう宮古市議選挙は15日の告示、22日が投票日です。前回は候補者全員が無投票当選でしたが平成の大合併や津波等の大震災と台風10号災害をふまえて議会の役割が問われる選挙です。

市議会は昨年7月の市長選挙で定数5人の市議会補欠選挙も同時に行われ元議員1人と新人4人が当選し、現在は28人が定数です。5月からは定数は6人減の22人となり、4常任委員会は3常任委員会にかわります。

通年議会の具体化へ

大きな変化は宮古市議会も3月議会定例会で通年議会にふみきったことです。それまでは、3、



任期中最後の3月議会定例会の本会議場

【問】委員会では議会の判断は黒に近いグレー、市は白に近いグレーなどの議論だったが、市長は

【問】市長は議会会期中に出張しているが、議会軽視ではないのか。

【市長】議長が行くなら、軽視ではないのか。

質疑総括

法的な灰色議論を市長がシロと決定

田中議員

【問】その一つが、田中新庁舎内の信金店舗整備だ。吉田部長は当初「適法」と言っていたが、総務委員会の質疑では「わからない」となった。【市長】吉田部長は「法的に幅のある法律」だと言ったので、法的に抵触しないと私が判断した。

議会軽視の認識は？

【問】市長は議会会期中に出張しているが、議会軽視ではないのか。

【市長】議長が行くなら、軽視ではないのか。

介護保険事業へ市民の声

家族介護支援の創設要望

市民アンケート調査では皆様からのご協力をいただきありがとうございました。

今週は中間発表として今年度から実施されています「第7期介護保険事業」に関連する市民の意向を紹介します。

質問に対し、二個選んで回答する内容ですが、

保険料、利用料の軽減要望が30%と最多で、施設を利用せず、家庭内介護家族への支援策の創設が26%と続き、サービスを担う、介護職員の給与引き上げ等待遇改善も多く望まれている結果となっています。

目を疑ったのは「特養ホームの増床・増設が0%だったことです。

2個選択という制約のもと緊急性を選んだ結果ともいえます。国は増え続ける介護事業費の支出抑制に熱心ですが、社会で支える介護のあり方が問われる事態と言えます。

不十分な基本条例の実践

議会は「議会基本条例（平成21年6月制定）」で「市長その他執行機関

【市長】議会から居ろ、と言われたり、トップセールスで飛び回れ、と言われたり、どうして良いかと思う事がある。本会議は欠席していない。

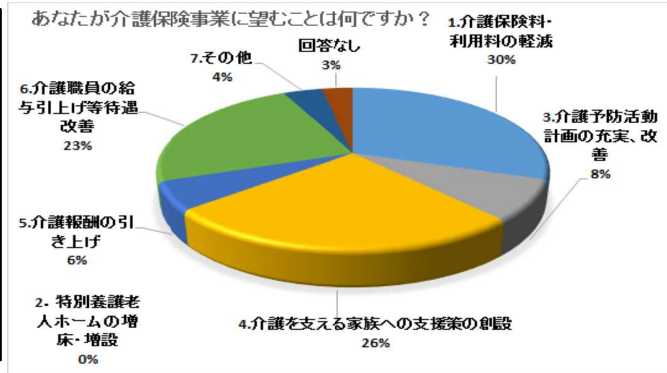
【問】（委員会審議もあり）原則、居るべきと考える。必要が、あれば議長長の了解をいただいで動けば良いだけの話だ。

【市長】議長には、報告をしている。

【問】報告には事前と事後とがあり、協議が必要と考える。

【市長】議長が行くなら、軽視ではないのか。

【市長】議長が行くなら、軽視ではないのか。



くらし。福祉の願い

○国保税1世帯、1万円引き下げ

○宮古病院の医師確保と介護保険事業制度の改善

○高齢者バスで通院の便利化等公共交通網の充実

○待機児童の解消と高校生まで医療費の無料

○農林漁業の担い手確保と地域木材の活用促進

○漁業シンポジウムで不漁打開策の研究と実施

漁火

桜の開花が話題になる時期を迎えた。それは菊とともに日本の花として知られる▼年配者には遠山さんの入れ墨を思い浮かべる方も。咲いて良し散って良し。ただし、金さんのそれは、嘘を暴く証拠として登場。罪を逃れようとする人には打撃



▼東京の花見は終わったが、国会では桜の出番が望まれる。嘘の政治を断罪するため。「大きな嘘を頻繁に繰り返せば、人々は最後には、その嘘を信じるだろう」▼嘘も百万遍ということわざの語源。発信者は政権掌握とナチスドイツの体制維持に辣腕を發揮したゲッペルス。ヒトラーの恐怖政治を演出▼公文書改ざんの総元締めは副総理の麻生財務大臣。安倍総理にナチスの政治手法を進言した。桜吹雪を前に、悪者が「恐れ入りました」と罪を認める場面を多くの国民は期待している。